

2021年7月19日  
日本銀行大分支店



# 大分県内の景気動向

2021年7月公表分

本資料は当店ホームページにも掲載しています。

<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>



〈本件に関するお問い合わせ先〉

総務課 (TEL : 097-533-9106)

(FAX : 097-538-7085)

E-Mail : [ooita@boj.or.jp](mailto:ooita@boj.or.jp)

## (総論)

大分県内の景気は、一部に厳しさが残るものの、基調としては緩やかに持ち直している。

個人消費は、持ち直しの動きがみられている。この間、観光は、持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状態にある。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。設備投資は、増加している。

鉱工業生産は、高めの水準で推移している。

雇用・所得面をみると、労働需給は、改善の動きがみられている。雇用者所得は、弱めの動きがみられている。

金融面では、預金・貸出金ともに増加している。この間、銀行の貸出約定平均金利は低下傾向にある。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の動向が、家計の消費マインドおよび企業の収益動向・資金調達環境・経営行動に与える影響などに注視していく必要がある。

## ＜景気動向の総括表＞

		前月 (2021年6月)	当月 (2021年7月)	前月から の変化
総括判断		持ち直しの動きが一服している。	一部に厳しさが残るものの、基調としては緩やかに持ち直している。	引き上げ
需要項目	個人消費	弱めの動きとなっている。	持ち直しの動きがみられている。	引き上げ
	観光	厳しい状態にある。	持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状態にある。	据え置き
	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。	据え置き
	公共投資	増加している。	増加している。	据え置き
	設備投資	増加している。	増加している。	据え置き
鉱工業生産		高めの水準で推移している。	高めの水準で推移している。	据え置き
雇用・所得	労働需給	緩和の動きが一服している。	改善の動きがみられている。	引き上げ
	雇用者所得	弱めの動きがみられている。	弱めの動きがみられている。	据え置き

## 1. 個人消費

<p>個人消費</p>	<p>持ち直しの動きがみられている。</p> <p>—— 飲食店等において新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、飲食料品や日用品などの販売が堅調に推移しており、持ち直しの動きがみられている。</p>
<p>観光</p>	<p>持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状態にある。</p> <p>—— 自治体の旅行支援事業の効果などから一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行客は引き続き低水準となっている。</p>

### (参考)

<p>大型小売店等</p>	<p>引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、スーパー等では飲食料品などの販売が堅調に推移しているほか、専門店等では客足が戻ってきており、全体として持ち直しの動きがみられている。</p>
<p>コンビニエンスストア</p>	<p>冷凍食品や季節商品の販売が増加しているほか、観光地の客数も下げ止まっており、持ち直しの動きがみられている。</p>
<p>ドラッグストア・ホームセンター</p>	<p>日用品などを中心に、販売は高めの水準で推移している。</p>
<p>家電大型専門店</p>	<p>テレビなどを中心に、販売は高めの水準で推移している。</p>
<p>乗用車新車販売</p>	<p>納車の遅れから、足踏み状態となっている。</p>

## 2. 投資（住宅・公共・設備）

住宅投資	弱めの動きとなっている。
公共投資	増加している。
設備投資	<p>増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>—— 6月短観における21年度設備投資計画をみると、前年度比+27.8%の増加計画となっている（製造業：同+37.2%、非製造業：同▲5.0%）。製造業では新製品の生産対応や能力増強投資の実施等から前年を大幅に上回る計画となっている。</li><li>—— 5月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、前年を上回った。</li></ul>

### 3. 生産

#### 鉱工業生産

高めの水準で推移している。

—— 5月の大分税関支署管内の輸出額は、前年を上回った。

### 4. 雇用・所得

#### 労働需給

改善の動きがみられている。

—— 5月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月比上昇した。6月短観における雇  
用人員判断D.I.は「不足」超となっている。

#### 雇用者所得

弱めの動きがみられている。

—— 4月の雇用者所得（1人当たり現金給与総額×常用労働者数）は、前年並み  
となった。

## 5. 物価

消費者物価	5月の消費者物価指数（大分市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、▲0%台前半となっている。
-------	--

## 6. 金融

預金	増加している。 —— 実質預金残高（含む譲渡性預金、大分県内に本店を置く金融機関の合計、未残ベース）は、増加している。
貸出金	増加している。 —— 貸出残高（大分県内に本店を置く金融機関の合計、未残ベース）は、増加している。
貸出金利	低下傾向にある。 —— 貸出約定平均金利（総合・ストックベース、大分県内に本店を置く日本銀行の取引先金融機関の加重平均）は、低下傾向にある。
企業倒産	低めの水準で推移している。

## <当店のホームページのご案内>

(当店ホームページのトップページ)

<https://www3.boj.or.jp/oita/index.html>

(大分県内の景気動向)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/geppou.html>

(短観)

<https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tankan.html>

(特別調査レポートのご案内)

[https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tokubetu\\_repo.html](https://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tokubetu_repo.html)

(支店見学のご案内)

[https://www3.boj.or.jp/oita/tennai\\_kengaku/kenngaku\\_annai.html](https://www3.boj.or.jp/oita/tennai_kengaku/kenngaku_annai.html)



## ＜当店が公表している特別調査レポートの一覧＞

- [大分県内における再生可能エネルギーの利用拡大に向けた動き ―地熱・温泉熱エネルギーを中心に―](#) (21年3月31日公表)
- [感染症拡大下でも底堅さを示す大分県の製造業](#) (20年11月18日公表)
- [大分県における観光業復活に向けた取り組み](#) (20年10月23日公表)
- [新型コロナウイルスの感染拡大を受けた大分県民の消費行動の変化](#) (20年9月11日公表)
- [県内企業における人材の確保・育成に向けた取り組み](#) (20年2月20日公表)
- [大分県の輸出構造と最近の動き](#) (19年11月1日公表)
- [大分県の企業立地](#) (19年10月25日公表)
- [大分県のインバウンド動向 ―世界的スポーツイベントの開催を前に―](#) (19年7月31日公表)
- [大分県の地価動向](#) (19年6月21日公表)
- [大分県のインターネット消費](#) (19年4月1日公表)
- [大分県の人口減少の緩和に向けて](#) (18年11月28日公表)
- [大分県内のキャッシュレス決済に関する現状整理](#) (18年10月25日公表)
- [観光消費の促進に向けた着眼点](#) (18年10月11日公表)
- [成長力強化が期待される大分県の農業](#) (18年6月19日公表)
- [イノベーションを捉え始めた県内製造業](#) (18年4月2日公表)
- [民泊の本格解禁に向けた県内の動き](#) (18年2月21日公表)

以 上